

(案) 蕨市新図書館整備基本方針

蕨市立図書館は、令和9年度中に蕨駅西口地区市街地再開発事業のB棟3階部分に整備される公共公益施設へ移転します。そこで、新図書館の整備を進めていくにあたり、要点となる事項について方針を定め、広く周知するものとして「蕨市新図書館整備基本方針」を策定しました。

基本理念

子どもも大人も ほっとプレイスで知的探求の悦びを

これまでの蕨市立図書館が築いてきた充実した資料を継承しつつ、子どもから大人まで全ての利用者に「ほっとプレイス」を提供し、豊かなときを過ごしていただくことを目指します。

新図書館の位置付け

図書館の役割は、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する」と図書館法に示されており、全国の図書館がその役割を果たすべく資料の充実に取り組んでいますが、近年では、この資料の充実に加えて、楽しい・心地良い等、滞在空間の満足度が求められる傾向にあります。

蕨市の新図書館についても、これまで同様、社会教育施設として生涯学習の中の知的活動拠点という位置づけでありつつ、駅西口地区市街地再開発事業における公共公益施設の基本コンセプト「豊かなときを創る ほっとプレイス」の実現を目指して、市民が豊かな時間を過ごす、家でも、学校や職場でもない、サードプレイスという特徴が加わります。また、蕨駅直結の公共公益施設として、蕨市の新たな顔となり、駅前にぎわい・交流に寄与する場所としても位置づけられます。

基礎的事項

新図書館整備にあたっての基礎的な事項について、次のとおり方針を示します。

名 称 新図書館の名称は、慣れ親しんだ「蕨市立図書館」を引き続き使用します。

運 営 方 法 新図書館の運営方法は、市の直営とします。

利 用 対 象 者 利用登録の対象者については、下記のとおり現行と同じとします。

- 蕨市内に在住、蕨市内の学校に在学、蕨市内の職場に在勤の方
- さいたま市、川口市、戸田市、草加市にお住まいの方

駐車場・駐輪場 利用者用の駐車場・駐輪場につきましては、図書館単独ではなく、再開発で整備される駐車場・駐輪場をご利用いただきます。

分 館 図書館が南町地区から中央地区へ移転することから南町地区の方の利便性を考慮し、南公民館内に「南町分館」を設置します。

視聴覚ライブラリー 蕨市視聴覚ライブラリーは廃止して、全業務を新図書館が引き継ぎます。

5つの特色

令和2年2月策定の「蕨駅西口地区市街地再開発事業の公共公益施設の設計について」で新図書館のコンセプト・機能として掲げられた、

○多様化する学習ニーズ・利用者特性に配慮した機能整備
○駅近を活かした導入機能と運営の連携
○安心・快適な利用環境の整備
の3点を踏まえて、新図書館の基本理念実現に向けて具体的な整備方針を検討し、それらを大まかに右の5つの特色に集約しました。

1 みんなのサードプレイス

2 駅直結を活かした利便性

3 図書館 DX によるサービス向上

4 充実した児童書コーナーの継承

5 中高生の読書・学習を支援

具体的な整備方針

新図書館整備の基本的な項目について具体的な整備方針を示します。

1 みんなのサードプレイス

家でも、学校や職場でもない、第3の居場所「サードプレイス」として、みんなが思いおもいの時を過ごす「お気に入りの場所」となるよう、空間づくりを進めていきます。

カフェコーナーと一体の新聞・雑誌ラウンジ 多くの方が利用する新聞や最新号の雑誌は貸出不可のため館内閲覧となるので、滞在時間が長くなる傾向にあります。そこで新聞・雑誌の閲覧コーナーには、くつろげる家具や、豆を挽いて淹れる本格的なコーヒーが楽しめる無人カフェコーナーを設置する等により、居心地の良いラウンジのような空間を創ります。

座席予約システム 駅前で多くの利用者が見込まれることから、できるだけ多くの方が公平に閲覧席を利用できるよう、座席予約システムを導入します。

集会室活用 図書館のイベントを実施する集会室を、新図書館では入口付近に配置することで、図書館と切り離して運用する等、フレキシブルに運用できます。また、未使用時には飲食可能な閲覧スペースとして開放したり、中高生のための自習室としたりするなどの活用も考えられます。

2 駅直結を活かした利便性

駅直結という絶好の立地を活かして、より利便性の高い施設となるよう、開館時間等を見直します。

開館時間 通勤・通学者が帰宅途中に気軽に利用できるよう、平日の開館時間を延長します。近隣の類似施設の状況等も踏まえて、以下のとおりとします。

	新図書館	現図書館
平日	10:00 ~ 21:00	10:00 ~ 18:00
土日祝日	9:00 ~ 18:00	9:00 ~ 18:00

休館日 毎週月曜日の休館日を廃止して、開館日数を増やします。

	新図書館	現図書館
休館日	■館内整理日(月に1日) ■年末年始(12/29~1/4) ■特別整理期間(年に1度)	■月曜日(毎週) ■館内整理日(月に1日、 2・8・12月を除く) ■年末年始(12/28~1/4) ■特別整理期間(年に1度)
開館日数	338日	291日

(開館日数は令和7年度のカレンダーで試算)

駅前返却ポスト 駅西口連絡所にある返却ポストを、新図書館のすぐ下の階(2階)のエレベーターホール付近に移設します。これによりポストに返却された資料の回収が現在の週2回から毎日(開館日)となり、返却処理のタイムラグが改善されます。

3 図書館DXによるサービス向上

新図書館では、デジタル技術を活用した新たなサービスを実装します。これまで以上に快適で便利な図書館体験を提供します。

セルフ貸出機 利用者ご本人が貸出処理できる「セルフ貸出機」を導入します。自分が借りる本を他人に知られることが気になる場合等でも、セルフ貸出機であれば気軽に利用できます。

予約受取コーナー	「予約した資料の受取」をセルフ化するコーナーを設けます。例えば、駅を降りて帰宅途中に予約した本を受け取って帰るとき、サッと来て簡単にピックアップできるので、図書館利用がますます便利になります。
I C 化	セルフ貸出機や予約本受取コーナーを支える技術がIC化です。全ての資料にICタグを付けることでセルフ貸出処理と無断持出防止が実現できると同時に、蔵書点検の作業スピードが上がることで休館の期間が短縮される等、サービス向上に貢献します。
利用者用 Wi-Fi	現在、調べ物にはインターネットが欠かせない存在となっていることを考慮し、利用者にWi-Fiを提供します。市役所や“くるる”で導入している「街Wi-Fi」を採用することで、一度利用登録すれば図書館はもちろん、市役所や“くるる”でも自動的に接続されるので快適に利用できるようになります。

4 充実した児童書コーナーの継承

蕨の図書館が大切にしてきた「充実した児童書コーナー」を新図書館でも承継します。子どもたちの楽しい大好きな空間となるよう心掛け、未来を担う子どもたちの成長を引き続き全力で支援していきます。

児童書コーナー	子どもたちがワクワクを感じながらも落ち着いて読書に集中できるよう空間全体を明るい落ち着いた色調で統一し、随所に座れるスペースを設けます。また、窓際に靴を脱いでゆったり過ごしたり、紙芝居を観たりすることができる小上がりスペースを設ける等、子どもたちが楽しく過ごせる空間を創ります。また、児童書コーナーは、新聞・雑誌ラウンジとYA(ヤングアダルト)コーナーの間に配置することで、多少音を立てても奥の閲覧席で読書や勉強している人が気にならないようにするとともに、職員のいるカウンターの目の前に配置することで、子どもたちの安全性を最大限に配慮したレイアウトとなっています。
おはなしの部屋	児童向けイベントには、「紙芝居」の上演や演者が子どもたちの目の前で絵本を読んであげる「読み聞かせ」、本の内容を暗記して本を見せずに口述だけで伝える「語り」等、いくつかの手法があります。いずれにしても、子どもたちが物語の世界に集中できるよう、外部から遮断された「おはなしの部屋」を設けます。
ボランティア支援	児童向けイベントは、ボランティアの方々に実施していただいている。このボランティアの方々が、より充実した活動を楽しく続けていただけるように会議スペースや道具保管場所を確保する等により支援をさらに充実させていきます。ボランティアの方々の、みんなで子育てという想いを全力で後押していきます。

5 中高生の読書・学習を支援

中高生は、やりたい事・やるべき事が増え、読書から遠ざかる傾向にあります。しかし子どもから大人への過渡期であり多感な中高生こそ、読書が必要です。また学習面からも、学ぶ範囲が広がり知識を大きく伸ばす大切な時期です。そんな中高生たちのために、新図書館では読書・学習の両面からの支援をより充実させていきます。

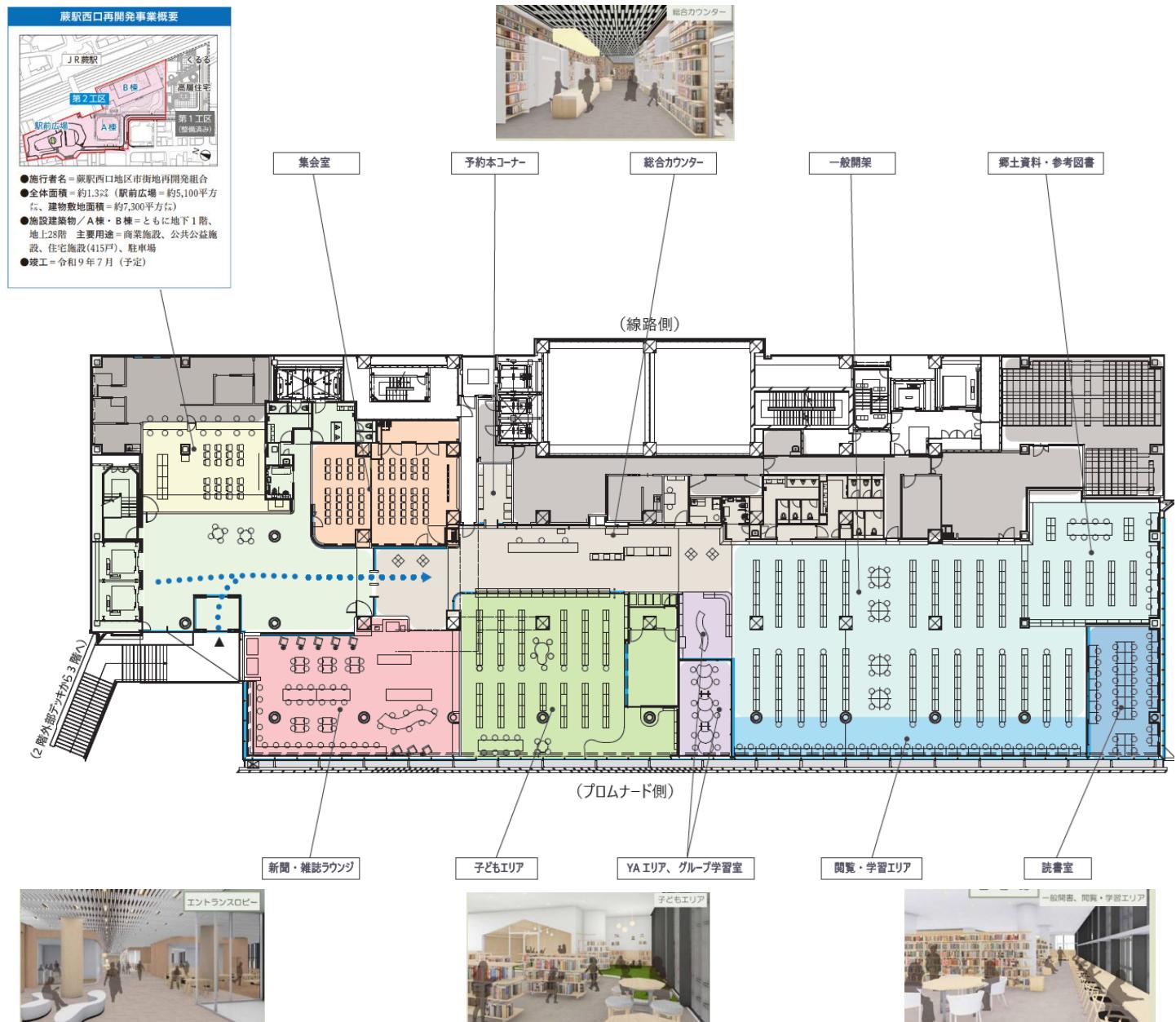
YAコーナー	児童書や一般書の中から中高生向けの本を集めてYA(ヤングアダルト)コーナーを設置します。また、本を集めただけでなく、閲覧スペースや展示スペースも一体的に整備して中高生の居場所となるような空間を創ります。
グループ学習室	数人で議論したり共同で作業したりできるよう、グループ学習室を設けます。机は小型で可動式とし、用途に応じてレイアウトを変更できるようにします。
高校生のお薦め本コーナー	YA(ヤングアダルト)コーナーと連携させて展示スペースを確保します。また、飾り付ける棚や備品を整備して、現在よりも目立つ展示となるよう工夫します。

フロア配置

令和元年度に実施したアンケートやワークショップでの意見を踏まえ、図書館に求められる機能を効率的に配置しました。カフェコーナーを兼ねた新聞・雑誌ラウンジから児童書コーナー、YA(ヤング・アダルト)コーナーといった順に奥に行くにしたがって静かな空間になっていく配置や、職員の目が届きやすいカウンター前に児童書コーナーを配置する等、子どもから大人まで、みんなのお気に入りの場所となるよう心掛けました。

郷土資料は基本的に開架とし、蕨市について調べたいときにすぐ手に取って閲覧できます。

また、ユニバーサルデザインに配慮した設計となっており、現図書館にある対面朗読室や多目的トイレの設置はもちろん、新たにベビーカー置場や授乳室を設置します。また、車イスに対応した通路幅や閲覧席、文字だけでなく絵も用いた案内表示等、より多くの方に使いやすいよう配慮しております。



※フロア配置図やイメージ図は変更になる可能性があります。

New Warabi City Library

令和8年 ●月 策定

蕨市・蕨市教育委員会

担当 蕨市教育委員会教育部 蕨市立図書館

MAIL tosh@city.warabi.saitama.jp

電話 048-444-4110

FAX 048-432-7950